

浄化槽法第7条検査「不適正」の内訳

平成20年度(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(1) 工事(施工)上の不備、不注意による不適正

内 容		件数(基)	割合
1	流入管きよに未接続(合併処理)	32	11.1%
2	浄化槽上部の状況不良、嵩上げの状況(維持管理困難;11)	13	4.5%
3	放流管きよ勾配不良等による槽内冠水(9)・放流先の異常	9	3.1%
4	送風機の設置不良(未設置、空気配管の破損・過長)、配管の誤接続(5)	7	2.4%
5	雨水排除管、屋外洗場排水管を流入管きよに接続(6)	7	2.4%
6	流入管きよ・インバート升等の施工不良	7	2.4%
7	ポンプ槽の構造不良等、ポンプの故障	1	0.3%
8	特殊排水の流入		0.0%
9	浄化槽本体の水平の狂い、漏水		0.0%
10	流入管(導入管)接続不良(臭突口に接続等)、流入T字管なし		0.0%
小 計		76	26.5%

(2) 浄化槽設置届書との相違による不適正(処理対象人員不足)

内 容		件数(基)	割合
21	申請建築物以外の建築物から接続	8	2.8%
22	申請建築用途と実際の建築用途が異なる	3	1.0%
23	申請と実際の建築内容が異なる(二世帯住宅)	2	0.7%
小 計		13	4.5%

(3) 計画、設計、製造上の不備、不良による不適正

内 容		件数(基)	割合
31	送風機、ばっ気攪拌装置又は逆洗装置の固定不良	8	2.8%
32	実流入汚水の過負荷(流入水量が多い;7)	7	2.4%
33	計量、定量ポンプ、移送、返送又は循環装置の固定不良	3	1.0%
34	送風機の固定又は稼働状況不良	2	0.7%
35	ろ材、接触材又は担体の浮上	2	0.7%
36	短時間に多量の汚水が勢い良く流入する(原水ポンプ調整器無し)	2	0.7%
37	制御装置の固定不良(稼働不良)	2	0.7%
38	越流せきの不良、沈殿槽の攪乱	1	0.3%
39	槽本体と隔壁(仕切板)接続部不良	1	0.3%
小 計		28	9.8%

(4) その他による不適正

内 容		件数(基)	割合
41	保守点検未実施(136)・回数不足(2)、清掃に関する指摘事項(6)	144	50.2%
42	放流水の水質不良(外観不良;10、BOD;1)	11	3.8%
43	保守点検の内容が不十分(消毒剤の消失;6)	6	2.1%
44	使用状況が不良(油脂類の流入;6)	6	2.1%
45	機能障害(生物膜の生成不良;2)	2	0.7%
46	各単位装置の水の流れ方の異常(生物濾過槽の閉塞等)	1	0.3%
小 計		170	59.2%

合 計		件数(基)	割合
		287	100%

浄化槽法第11条検査「不適正」の内訳

平成20年度(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(1) 保守点検・清掃が不十分による不適正

内 容		件数(基)	割合
1	清掃未実施(177)・回数不足(25)、記録票の保存状況(28)	233 (3)	13.5%
2	保守点検未実施(143)、回数不足(53)、記録票の保存状況(6)	202	11.7%
3	送風機故障(135)、旋回流・ばっ気攪拌停止、逆洗装置の稼働不良等	174 (12)	10.1%
4	汚泥管理作業不十分、汚泥等の流出	121	7.0%
5	放流水の水質低下、汚泥の流出状況及び放流水の外観不良(53)	95	5.5%
6	ろ材、接触材の浮上、担体の流出(逆洗作業の不良又は未実施)	77 (11)	4.5%
7	消毒の実施不良(39)、消毒装置の固定不良(5)、消毒装置の接触不良(2)	46	2.7%
8	各ポンプ類の故障による槽内満水	23	1.3%
9	制御装置の稼働不良等	16	0.9%
10	機器類の稼働不良等	11	0.6%
11	各種調整不良等の管理作業不十分	5	0.3%
小 計		1,003 (26)	58.2%

(2) 浄化槽の破損・変形による不適正

内 容		件数(基)	割合
21	漏水(70)、本体亀裂(3)	77 (4)	4.5%
22	隔壁等の破損、変形	47	2.7%
23	流入管きよ(16)、放流管きよ(11)及び弁の破損	28 (1)	1.6%
24	機器類の固定不良	18 (1)	1.0%
25	越流ぜきの不均等越流、内部短絡	14 (2)	0.8%
26	その他、本体点検口蓋の欠落・破損(6)	7	0.4%
小 計		191 (8)	11.1%

(3) 工事(施工)上の不備、不注意による不適正

内 容		件数(基)	割合
31	流入管きよに未接続(48)・誤接続(6)、勾配不良等	64 (7)	3.7%
32	放流管きよ勾配不良等による槽内冠水、逆流(越流せき部)、放流先の異常	38 (1)	2.2%
33	槽本体の深埋め(維持管理困難、破損の恐れ)	35	2.0%
34	屋外洗場・雨水排除管の誤接続(16)、雨水・土砂等の流入(6)特殊排水の流入	31	1.8%
35	維持管理困難(足場、手摺り等なし)、蓋が重く開閉困難	8	0.5%
36	その他	8	0.5%
37	短時間に多量の汚水が勢い良く流入する(原水ポンプ調整器無し)	1 (1)	0.1%
小 計		185 (9)	10.7%

(4) 処理能力が低下し、老朽化(旧構造浄化槽)等による不適正

内 容		件数(基)	割合
41	長時間ばっ気方式(単独処理)	81	4.7%
42	腐敗方式(平面酸化型)	37	2.1%
43	施設全体の老朽化	35	2.0%
44	腐敗方式(散水床型)	6	0.3%
小 計		159	9.2%

(5) その他による不適正

内 容		件数(基)	割合
51	実流入汚水量の過負荷(実流入汚水量;93)	103 (10)	6.0%
52	処理対象人員不足、無届け(2)等	26	1.5%
53	使用状況が全般的に悪い。(油脂類、洗剤の流入)	21	1.2%
54	機能障害(生物膜の生成不良;19)	19	1.1%
55	単位装置の水流の状況(閉塞等)	15	0.9%
56	その他	1	0.1%
小 計		185 (10)	10.7%

合 計		件数(基)	割合
		1,723 (53)	100%

件数(基)欄の()内数字は、11条検査(BOD測定)における不適正件数である。